



都賀の台小学校だより

千葉市立都賀の台小学校

5月号

令和5年 5月 1日

「準備」

校長 清水俊也

緊張して余裕がない。上手くいかない。きっと誰しも、そんな経験があると思います。料理番組で、調味料を小皿にあらかじめ用意されていますが、あれって・・・説明のため？時間がないから？メーカー名を映さないため？と思ったら、実際に準備をして調理をしてみると（お酒大さじ1、しょう油小さじ1など）めっちゃめっちゃスムーズに進み、失敗しない。準備って大事。でも洗い物が増える・・・。

料理だけではなく。きっといろいろなことが上手くいくかは、準備で決まる。準備がしっかりできれば失敗が少なくなる。

準備がイメージできれば複雑なことがシンプルに見え、時間がない時でも、余裕が持てると聞きました。

（失敗したら、どんな準備が不足したのかを考え、次の準備をする。失敗も大切です。）

親子の会話は、問いかけの「？」を使う

子どもは親と異なる「別人格」だと聞きました。兄弟姉妹で性格が違うように、それぞれが個性を持っています。個性を尊重したうえで、本人に合った接し方が大前提だそうです。会話の中で、語尾に「！」ではなく、「？」つけながら話すことです。「○○しなさい！」という口調ではなく、「勉強（習い事）が大変だけど、最近どう？」などと問いかけるようにします。親と距離を置きたがる思春期の子どもでも、なかなか「？」を完全に無視はできないと聞きました。少しでも反応があれば、そこから会話をひろげます。

失敗談を話すのも有効だそうです。親はつい自分の成功例を口にしてしまいがちですが、むしろ身近な人の失敗を聞き、「うまくいかないのが普通なんだ。ではどうしたらいいのだろう？」と自分自身で考える‘余白’を持たせると子どもの気持ちが楽になるそうです。

間違っても親の考えを押し付けたり、「○○も頑張らないと！」と言ってしまうと台無しになるそうです。

「いつも気にしているよ」という親の思いが伝わっていれば、子どもは安心してやるべきことに立ちむかっていけると聞きました。

昨日の自分よりも今日の自分。成長するための自分磨きを心掛けてほしい願いを親子の会話に取り入れたいですね。